

次世代医療・iPS細胞治療研究センター開設にあたって

安全・安心な医療の提供や、医療従事者の育成とともに、これまで治療法がなかった病気を治すための新しい医療を生み出すことも、京大病院の重要な使命です。このため、京大病院はiPS細胞研究所をはじめとした学内の研究所や医学研究科や他の研究科と連携し、京都大学が持つ最先端の研究成果をいち早く臨床応用につなげる体制を整備してきました。一方で、研究シーズを臨床応用につなげ新規医療技術として実用化するためには、臨床試験に参加いただく被験者・患者のみなさま、製薬企業、医療機関の方々の協力が必要不可欠です。

この度、健常者対象試験に加えて、がんや希少疾患、iPS細胞等による再生医療領域における早期臨床試験に特化した専用病棟として「次世代医療・iPS細胞治療研究センター（Ki-CONNECT）」を開設しました。

Ki-CONNECTの目指すところは、患者さんや製薬企業と医療機関を繋げて（Connectして）未来の設計図を描き、次世代医療の新たな扉を切り開くことにあります。Ki-CONNECTのロゴマークは、その意味を形にしたものです。

近い将来、Ki-CONNECTで行われる様々な臨床試験が大きな成果につながり、がんや難病などに苦しむ多くの患者さんに一刻も早く革新的な医療を届けられるよう、一丸となって取り組んで参ります。

皆様のご協力とご支援を賜れば幸いです。

京都大学医学部附属病院

病院長 宮本 享